



わたぼうし つつしん

令和 2 年 4 月号
(No. 226)

わたぼうし
病児保育室
塚田こども医院
(保育室専用電話)
025-544-7779



ご入園、ご入学、ご進級及
おめでとうございませう

寒さが和らぎ、花咲く季節ですね

コロナウィルスの影響で例年通りに
過ごすことができない日々ですが、子どもたちから
は「次は〇〇組さん!!」「4月から〇年生になる!!」
と期待でキラキラウキウキした姿を
感じます

ステップアップのこのシーズン、応援しています

新しい年度が始まります。みな
さん（子どもの親御さんも）緊張
しながら新しい生活を迎えること
していることでしょう。楽しみで
すね!

でも、新型コロナウイルスが心配
です。お子さんの健康状態をよく
みて、手洗いなど必要なことは
しっかり行って下さい。

また流行が始まると、様々なこ
とがおきるでしょう。休校とあわ
せて保育園・幼稚園も休園がある
かも。日頃からその準備もしてい
て下さい。

(院長)

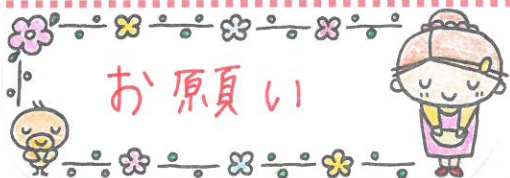
ある日のわたぼうし

院長から子どもたちにマキボライで
焼いてくれた「やきいも」「じゃがいも」が
届きます

「甘くておいしい〜!!」と大女子言平です
小さな子から小学生まで食べられて
栄養満点なおやつタイムになります
「わたぼうしで、おいも食べた!!」



とお子さんが言っていたら
このこと



お原頁い

令和2年度登録票を受け付け中です!
提出の際、下記の事項を今一度ご確認
お原頁いします。

- ① 用紙下の「承諾欄」は生活保護世帯の
方のみ記入・押印になります。
- ② 利用する事業に回チェックを忘れずに
お原頁いします。
- ③ 緊急連絡先は勤務先電話番号の
記入もして下さい。

先月のまとめ

利用者数(21 日間) 218 名 《一日あたり3~17名》

(うち上越市病児保育事業対象 216 名) 《平均10.4名》

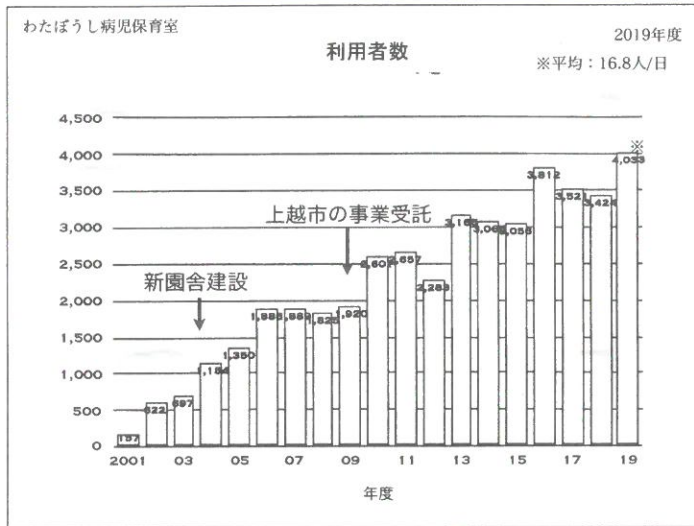
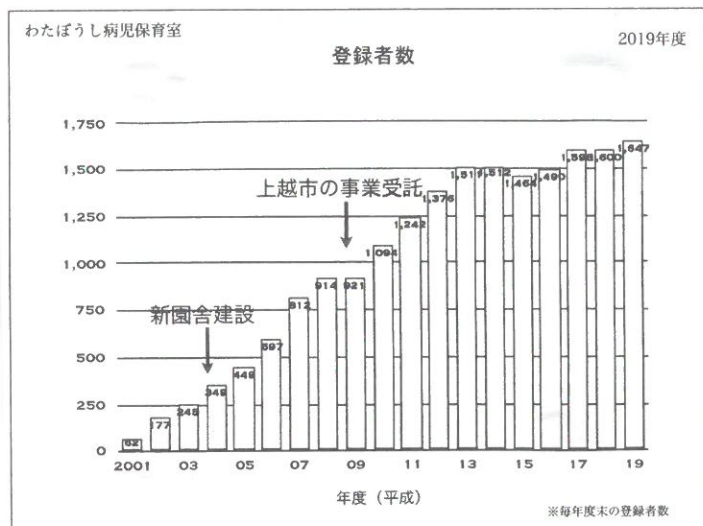
現在の登録者数 1,647 名

入室初日の病状: 急性期 98 件、回復期 21 件

感 冒	RS ウィルス	ヒトメタニューモウィルス
溶連菌感染症	感染性胃腸炎	急性気管支炎
インフルエンザB	喘息性気管支炎	下痢症
蕁麻疹	急性扁桃炎	急性上気道炎
てんかん	顔面打撲	発熱
便秘症		

わたぼうし病児保育室の現況 (2019年度のまとめ)

保育日数	240日
年間利用者数	4,033人
平均利用者数	16.8人/日
年度末登録者数	1,647人



- 昨年度（2019年4月～2020年3月）の利用状況のまとめです。登録者数（年度末）は年々増加し、昨年度は1,647人と、過去最高になりました。
- 利用数は年間でのべ4,033人。1日あたりは16.8人。これも過去最高の利用数となりました。そして4千人を初めて超える利用数となりました。必要なお子さんをしっかりとお預かりできているのが、この数字に表れていると思います。
- 日によって利用数がバラバラなのが病児保育の実情です。昨年度の最低は3人でしたが、その一方で最高利用は39人。多い日に合わせて保育士などの配置を行っています（医院職員も応援に入ります）。急性期の病児を対象にしているために、通常の保育だけではない専門的な業務も求められます。質・量ともに、さらに強化して、これからも良質な病児保育の体制を作ろうと考えています。

今後の新型コロナウイルス感染症に対する対応

- 新型コロナウイルス感染症が世界的な流行状態になりました（パンデミック）。中国に始まり、今やアメリカやヨーロッパ諸国で猛威をふるっています。今後日本でも同様な状況に陥る可能性は十分にあります。
- 県内ではすでに新潟市を中心に発生があり、病児保育の受け入れについて、制限を設ける動きがあります。
- 新潟市では、新型コロナと診断されたお子さんは病児保育に預からないことにしました。さらに「確定診断が出ていない児童は利用できない」としています。これは「新型コロナを否定できない子は受け入れない」ということです。例えば、検査をしてインフルエンザと確定していれば利用できるけれど、咳、鼻水、熱といった通常の感冒症状のお子さんは利用できません。利用できる例としてはとびひ、溶連菌感染症、アデノ感染症、RSウイルス感染症などがあげられています。しかし、感冒の他、上気道炎、気管支炎、肺炎、扁桃炎、喘息、感染性胃腸炎などは、原因病原体が確定していないので、利用不可という扱いです。
- この方針は新型コロナウイルス感染症を流行させないという強い意図に基づくものですが、病児保育で預かっている大半のお子さんは対象外になってしまいます。それでは何のための病児保育なのかという根本的な疑問も生じます。また、確定診断を求めることは、診療に無用な負担を強いることになりかねません。
- また、新潟市内に発生はあるものの、市中感染はまだおこしていないとする市の見解とは、相容れないもの to 思えます。病児保育で預かれないのなら、一般の病医院でも普通の感冒の子どもを通常通りには診察できないことになります。
- 上越市では今のところ、こういった厳しい方針はとられていません。しかし、今後当地でも新型コロナが発生すると、一定の方針が示されるでしょう。当院は上越市から委託を受けて事業をおこなっていますので、市の方針に従うことになります。
- また、新型コロナの発生にともない、市内の保育園が閉鎖されるような事態に至った時は、当施設も同じ判断を迫られる可能性があります。
- 今後の新型コロナの流行の状況によって、その都度対応が変わることが十分に考えられます。変更が生じた場合には当施設や市から連絡がありますので、それに従って下さい。よろしくお願いします。